

第4回北東アジアOSS推進フォーラム



日本OSS推進フォーラムの活動概要

2006年4月14日

日本OSS推進フォーラム 代表幹事

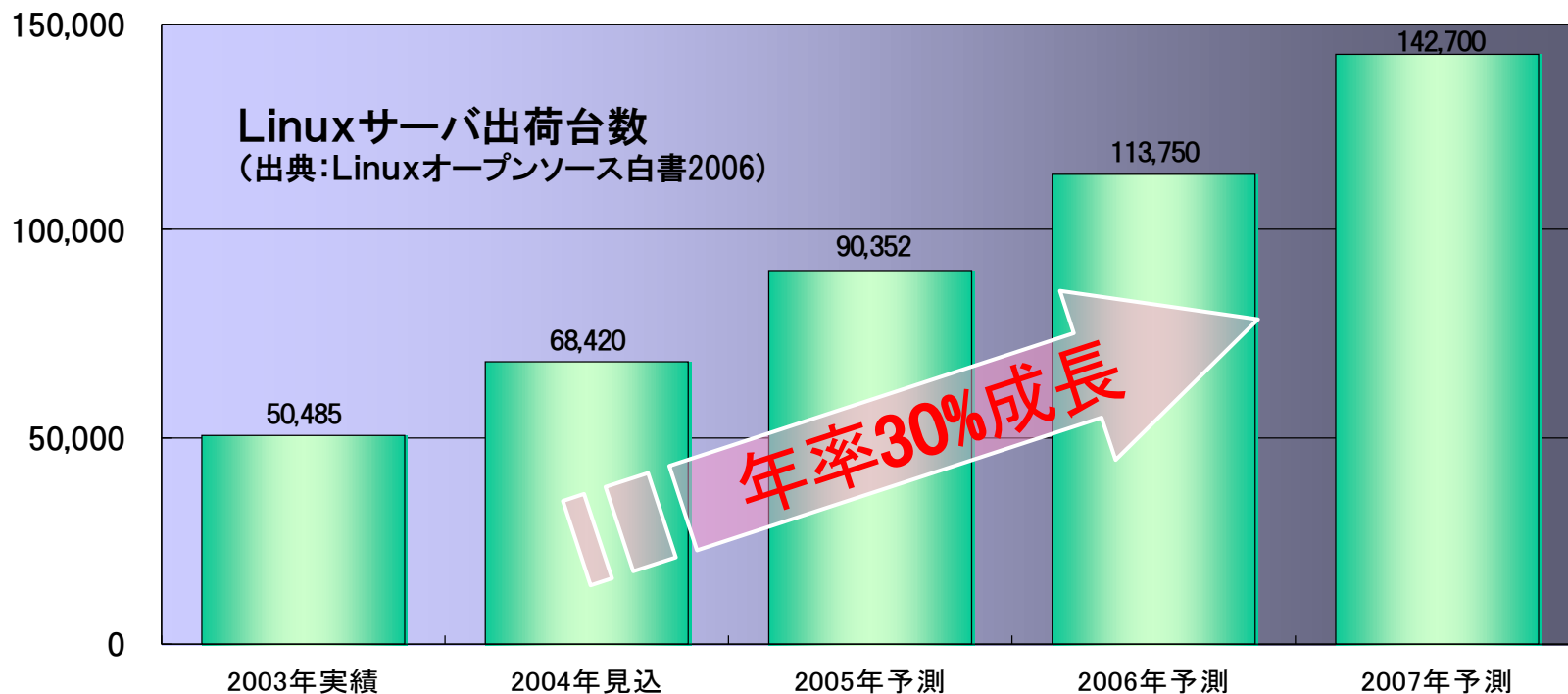
桑原 洋

Linuxサーバの
出荷動向

- Linuxサーバ市場の年平均成長率は、約30%(2003年～2007年)
- Linuxのサーバ搭載比率 11.8%(2003年) → 20.2%(2007年予測)

ユーザの理解と
導入状況

- Linux認知度(よく理解している) 41.7%
- Linuxサーバ導入済み 38.0%

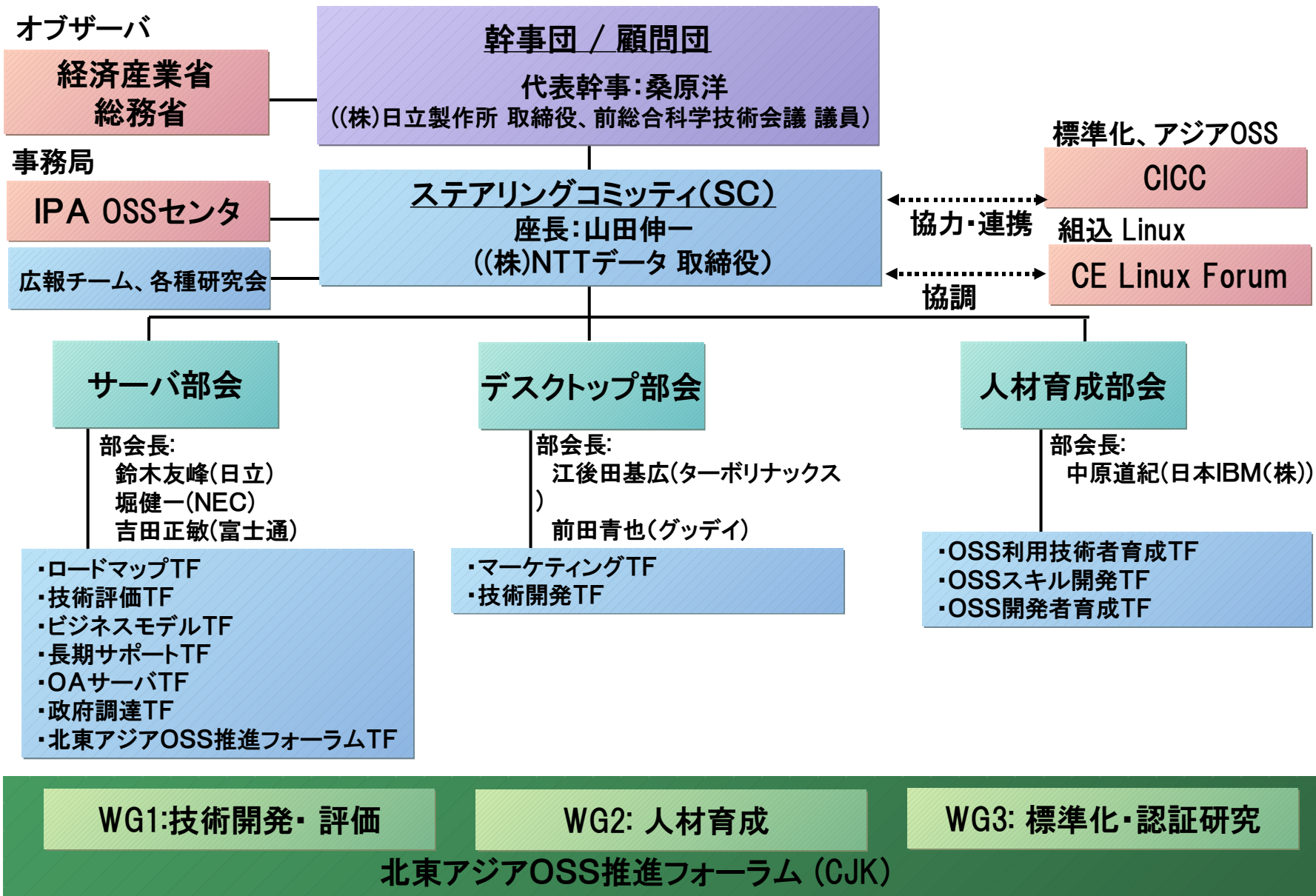


OSS発展のためには・・・

1. ユーザ導入意欲を高めることが重要。ゆえに、ユーザにどういったメリットがあるのか整理していく(ユーザに安心して使える環境を提供)
2. 皆でやっていこう、なぜなら同じようなことをやっても仕方ない
3. 競争がないと駄目。競争と協調のバランスを考えていく必要がある
4. 技術・機能的にも先進的であることが必要。技術的に後追いでは駄目
5. 短期間で移行できるよう、既存技術・機能と親和性があることが重要
6. 政策制度面での条件整備も重要

日本OSS推進フォーラムの目的

1. 政府、民間で協力することによる日本国内でのOSS普及拡大
2. ユーザが安心して使えるための技術的、制度的課題の解決と新たな選択肢の提供
3. 日中韓、世界のコミュニティとの協調によるOSS発展への貢献



第3回北東アジアOSS推進フォーラム以降の活動経過

年月	イベント	内容
2004/12	第3回北東アジアOSS推進フォーラム(ソウル)	WG1,WG2,WG3の第1回会議で今後の推進内容を決定
2005/3	幹事団・顧問団会議	2004年度活動の総括、2005年度活動計画審議
	プレス発表	性能・信頼性評価、障害解析ツール開発の成果Ph.1を発表
2005/5	IPAX2005	OSS推進フォーラム活動報告会
2005/6	LinuxWorld Tokyo	各WGで活動を報告
2005/7	プレス発表	デスクトップWGが学校実証実験の成果を発表
2005/8	幹事団会議 日本OSS貢献者賞表彰式	OSS発展に貢献した4名を表彰
2005/11	プレス発表	性能・信頼性評価、障害解析ツール開発の成果Ph.2を発表
2005/12	幹事団会議	新組織体制について審議
2006/2	OSS推進フォーラム 세미나	OSS推進フォーラムの活動を報告するセミナーを開催
2006/3	幹事団・顧問団会議	2005年度活動の総括、2006年度活動計画審議
2006/4	第4回北東アジアOSS推進フォーラム(天津)	各WG、各国の推進状況報告と今後の活動方針を決定

2004/12～2005/4まで:ステアリングコミッティ開催:15回

2005/12 幹事会



新組織体制について審議

2006/3 幹事団・顧問団会議



2005年度活動総括
2006年度活動計画の審議

2005/5 IPAX2005



2005/8 日本OSS貢献者賞 表彰式

OSSの発展に貢献した
4名を表彰

2006/2 日本OSS推進フォーラムセミナー

日本OSS推進フォーラムの
活動を報告

「政府システム調達におけるOSS利用の促進」に関する 政府への提言(2004.11 e-Japan重点計画特命委員会)

- 各省システムにおけるOSSの導入実績の開示を要望
- OSSのメリットを活かせる政府調達における
ソフトウェア調達の考え方の提示
- 先導的なOSS導入プロジェクトの実施を要望
- OSSの普及のために、調達時に、サポートサービスに対する
適切な対価の設定を要望

OSS政府調達ガイドラインの作成、および実証実験

- 政府・自治体のシステムでOSSを調達する際の記述例の提示
- 学校でのOSSデスクトップ利用実証実験提案
- 地方自治体でのOSSデスクトップ利用実証実験提案

OSSに関する解説ドキュメント、ガイドラインの作成

- OSS性能、信頼性評価、障害解析ツール開発
- OSSが開発コミュニティからユーザに届くまでの仕組み
- 法的リスクに関する解説
- OSSのTCOガイド

OSSに関する国際協力(主に中韓)の推進

- 北東アジアOSS推進フォーラムの実施による情報共有
- 共同技術評価、共同開発の検討 (WG1)
- 人材育成に関する情報交換、コンテストの実施 (WG2)
- 標準化の検討と推進 (WG3)

サーバ部会の活動方針

トップシェアに向けた開発・評価・普及活動の推進

具体的な活動

- OSSシステムのミッションクリティカル向け開発ロードマップ策定
- OSSビジネスの課題抽出・OSSビジネスモデルの提案
- OSS性能・信頼性評価の継続実施
- OSS調達拡大のための課題検討と解決、啓蒙の推進
- 外字管理機能等のOAサーバ対応開発プロジェクトの立ち上げ
- 長期利用ガイドラインの作成
- 日中韓WG1(技術開発・評価)との連携

デスクトップ部会の活動方針

OSSデスクトップへの移行促進

具体的な活動

- 実証実験や事例からの課題抽出と、対策ロードマップ作成
- OSに依存しないAPIにより、OSSデスクトップ移行を促進
 - 「オフィス・スーツ(ワープロ/表計算/プレゼンテーション)」
 - 「ウェブ・ブラウザ」
 - 「メールクライアント」
- 特定のブラウザで依存性の排除を推進
- マーケット(企業を含む)への普及啓蒙活動
- フォント、日本語入力、印刷等への対応策検討
- 研究的課題については、産学官共同で解決

人材育成部会の活動方針

産学官による人材育成体制の構築

具体的な活動

- OSSを道具として使って、大学、専門学校と企業のキャリアパスの間にあるギャップを埋める検討及びOSSを題材とした教材やコースウェアの整備、スキル開発カリキュラム等の検討
- 中小や地方の情報サービス業においてOSSを使える人材の育成および啓蒙活動、情報発信
- OSSコミュニティで活躍するOSS開発者を育成し、OSS開発者としてのキャリアを究められる環境についての検討

日本OSS推進フォーラムは

日中韓政府局長合意を尊重し、その実現に協力します。

日中韓合同WGの決定事項を具体化し、日中韓、日本国内でのOSS普及に向けた活動を展開して行きます。

世界のOSSコミュニティと協力してOSSの発展に寄与していきます。

END

日本OSS推進フォーラムの活動概要

2006/4/14

日本OSS推進フォーラム 代表幹事
桑原 洋

